

# 薬連ハイライム

## 自由民主党薬剤師問題議員懇談会 世話人会・総会 開催

令和8年6月1日（月）、日本薬剤師会の課題と要望を理解していただくため、参議院議員会館において、自由民主党薬剤師問題議員懇談会の世話人会と総会が開催された。

### ●世話人会

午後1時15分より開催され、新たに都道府県薬剤師連盟から推薦を受けた47名の国会議員の入会が承認されたほか、世話人会の人事変更として、世話人にとかしきなおみ衆議院議員、事務局次長代理に神谷政幸参議院議員、事務局次長に藤田洋司衆議院議員が就任することが承認された。続いて、「日本薬剤師会の課題と要望」について、協議と意見交換が行われた。

### ●総会

午後2時より事務局次長である本田顕子参議院議員の進行により、本人100名、代理103名が出席して開催された。鈴木俊一会長による開会挨拶の後、新規入会者が文書にて紹介され、これにより懇談会会員数は計254

名となったことが伝えられた。次に、会計報告が行われた後、岩月日本薬剤師連盟会長の挨拶に続いて、日本薬剤師会の橋場常務理事から「日本薬剤師会の課題と要望」として、国民の命を守るための薬局の経営基盤の強化、医薬品・薬剤師サービスの提供体制の強化、薬局機能強化のための薬局DX推進などについて要望が説明された。

その後、参加した議員から、多くの意見や課題解決に向けた理解を感じられる発言があり、薬局・薬剤師を取り巻く課題や今後の対応等について、活発な意見交換が行われた。



## オレンジ日記

### 高市内閣での「骨太」

参議院議員・薬剤師  
本田 顕子



2026年が折り返しの時期を迎え、会計年度では第一四半期が過ぎました。

7月1日、「骨太」等の主要政策を議題として厚生労働部会が開かれました。

私からは、物価・賃上げ対応や薬価への物価動向の反映などとともに、高市内閣で肝いりの「攻めの予防医療」に関して、薬剤師や薬局が地域の健康づくりや国民の健康リテラシー向上に貢献できると考えていますので、薬剤師の関与と薬局の活用について追記するよう発言しました。

今年の「骨太」は、高市内閣が掲げる「責任ある積極財政」という考え方に基づく「日本成長戦略」と連動させ、更に分野ごとの閣議決定文書と紐付ける「三層構造」とすることで、「骨太」のスリム化を図っています。そのため、「骨太」が用いる他の文書の書きぶりも確認しながらの議論となっています。

加えて、今回の「骨太」は医療機関に限っていますが、財政制度等審議会の6月26日付「春の建議」には、医療機関と共に「薬局の集約化・大規模化に向けた取組が不可欠」と明記されていますので、今後注視が必要です。

人口減少が続く中、業務効率化や地域の多様な実情を踏まえた薬局機能の在り方などについて考えていく必要はありますが、闇雲な議論によって薬局機能の持続性と患者安全が損なわれることがあってはなりません。

各都道府県の連盟の皆様には各選挙区の薬剤師問題議員懇談会会員の議員とも連携していただき、幅広く薬剤師や薬業界の良き理解者を増やしていけるよう、私も汗をかいてまいります。

## 政 幸 だ よ り

### 世界保健総会に出席して

参議院議員・薬剤師  
神谷 政幸



厚生労働大臣政務官として本年5月下旬にスイス・ジュネーブで開催された世界保健機関（WHO）の世界保健総会に参加して参りました。

本総会は毎年1回開催されていますが、世界的な保健の課題解決に向けての議題等がありました。日本政府を代表しての代表演説では、WHO改革への日本政府としての考えや、世界各国のユニバーサルヘルスカバレッジ（UHC）達成に向けた貢献への決意などを話してきました。テドロス・アダノムWHO事務局長とのバイ会談においては、さらに踏み込んだ意見交換をすることができました。

UHCは各国すべての人々が必要な保健医療サービスを、経済的な困難を負うことなく受けられる状態をいいます。世界各国では社会保障制度の状況も様々であり、UHCの実践には財政面の均衡を確保することが重要となります。今回の出張では、あらためて国際保健を取り巻く厳しい状況の中でも、いかに多くの日本人関係者が世界でその向上のために取り組んでいるかを再確認することができました。

日本は国民皆保険や高額療養費制度などによりUHCを達成しています。参議院議員・薬剤師としても、このような優れた社会保障制度を維持できるように医薬品の適正使用やポリファーマシー解消に会員の皆様と共に取り組んで参りたいと考えております。